



ようこそ！ 市長室へ

4



「英語で子どものコミュニケーション能力アップを！」

子育てに関する課題のひとつにコミュニケーション能力の育成があります。①人に伝えたいと思えるものを持つ。②人と会話する技術を身に付ける。③コミュニケーションの楽しさを知る。これらのことを、幼い時期から教えていくことが大切だと

思います。

なぜ苦労して英語を勉強するのでしょうか。それは、英語というコミュニケーションの道具が、思いも寄らない楽しい未知の世界への扉を開けてくれるかも知れないからです。可見市では、子どものコミュニケーション

ション能力を高め、楽しさを知ってもらう教育の一環として、今年度から、英語による子どものコミュニケーション能力アップモデル事業を始めました。

それは、南帷子小学校で始めた「かにつこ英語プログラム」です。小学校英語の専門家清水万里子氏の指導で、子どもたちが普通に英語を聞き・話すことができる環境をつくり、英語によるコミュニケーション力を高めていこうという取り組みです。

音声付英語絵本などを活用した読み聞かせを6月から始めています。また、7月にはインターネット電話サービスの利用して、オーストラリアのプレンペール小学校と交流するなどの「英語サマースクール」を行います。また、遊び感覚で英語を覚える「英語かるたの作成」なども実施していきます。

柔軟な聴覚力のある幼い時期こそ、英語を聞き取る力を育てる好機です。とにかく、聞くことができ、会話の楽しさを知り、次第に知識を身に付けていく、そんな活動ができたらと考えています。間違っていない、下手くそでも恥ずかしがらず、物怖じせずコミュニケーションでき



清水万里子氏

る楽しさを知って欲しいと思います。

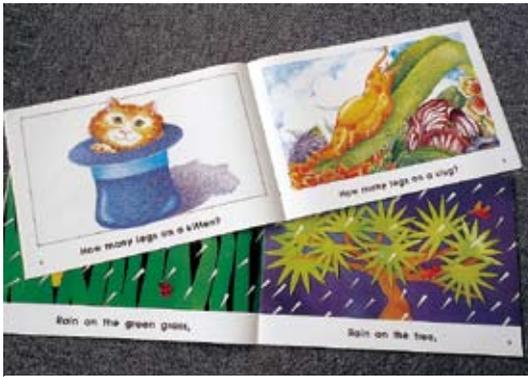
一方で、外国という全く異なった文化で育った人たちとコミュニケーションをとるためには、知識が必要です。自分や家族のこと、友達や学校のこと、地域、可見市や日本のこと、歴史や文化をもっともつと知らなければなりません。

そして、自分や周囲に誇りを持ち、愛する気持ちがないと、相手に伝えることができません。可見市の小学校で学んだ子どもたちには、そんな知識と技術と心をもって育って欲しいと願っています。

可見市長 富田成輝



読み聞かせ学習の様子



読み聞かせの教材